

# 舌尖部の先天性類表皮嚢胞の1例

喜久田利弘<sup>1)</sup>, 瀬戸 美夏<sup>1)</sup>, 高橋 宏昌<sup>1)</sup>,  
喜多 涼介<sup>1)</sup>, 福田麻衣子<sup>1)</sup>, 古田 治彦<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 福岡大学医学部医学科歯科口腔外科学講座

<sup>2)</sup> 近畿大学医学部奈良病院歯科口腔外科

要旨：類皮嚢胞や類表皮嚢胞は外胚葉組織の迷入や残遺により発生するとされている。類表皮嚢胞は特に後天性に外傷、炎症、手術により上皮または表皮の迷入に由来するとされる。我々は生下時より舌尖中央部に認められた稀な類表皮嚢胞を経験した。同嚢胞は舌尖部の左右下顎鰓弓の癒合部に位置していた。

キーワード：類皮嚢胞, 類表皮嚢胞, 舌尖, 下顎鰓弓